

特集

ウィリアム・ゴドウィン
の生誕250周年記念に寄せて



ゴドウィンとウルストンクラフトが秘密結婚をした教会と、埋葬されたその教会墓地（当時）

CONTENTS

ウィリアム・ゴドウィンの生誕250周年記念に寄せて
VOICE
LIBRARY NAVIGATOR
図書館さんぽ 第7回「紙の博物館図書室」
新収資料紹介
INFORMATION



ゴドウィン(45歳) ノースコート筆

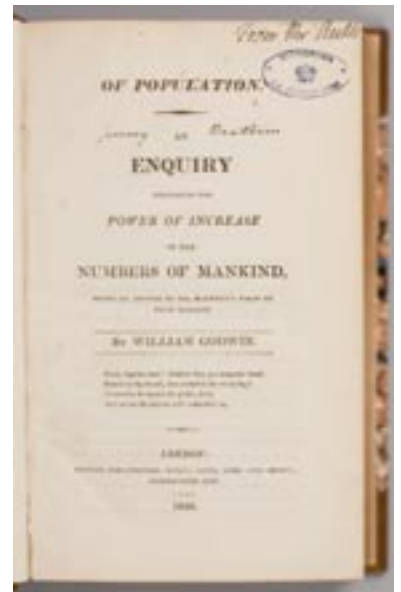
William Godwin(1756.3.3-1836.4.7)(写真左上)は、フランス革命が血と暴力の革命と化した時、大作『政治的正義』2巻(1793)(写真左下)を書いて、理性による非暴力主義を唱え、理性的無政府主義や自由恋愛主義などを主張して、政治学者として一躍時の人となった。そして、彼の理性的人間論や政治論は、たちまちワーズワス、コールリッジ、サウジー、ハズリット、バイロン、シェリーなど、イギリス・ロマン派の若獅子たちに強烈な影響を与えた。

ゴドウィンの著作は、著書・論文が90編を超える。すべて時局に適応した主題を論じて、颯爽と新時代を開拓した。その世界は、小説、劇、伝記、教



『政治的正義』初版(1793)

育、政治、社会、人口(写真右)、歴史、宗教、言語、文法、魔法など多岐にわたる。例えば、歴史小説ではスコットと並び称され、心理小説では当代無比とまで謳われた。アメリカの若き鬼才ポーは、現代の最も尊敬する文人として、コールリッジ



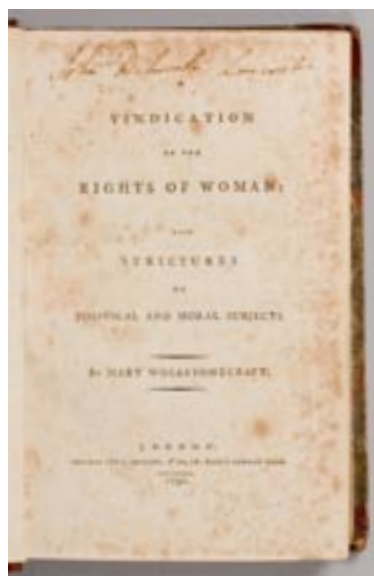
ゴドウィンの『人口論』初版(1820)の扉とゴドウィンを挙げ

た。ポーの代表作「大鴉」(1841)は、彼の「創作哲学」によれば、最初に最終の第17節を書き、後から数学的正確さと厳格な因果律とに従って、次第に順番を逆に遡って完成させたものである。

しかし、この科学的数学的創作法は、実はゴドウィンの心理小説『ケイレブ・ウィリアムズ』(1794)において使われた彼の独創的小説作法なのであった。(もっとも強いてその創作法の起源を求めれば、ホーマーの二大叙事詩にまで遡ることができる。)ゴドウィンがその手法を読者に公開したのは、初版から数えて38年後の1832年であった。ポーは、それをディケンズから教わったのである。読者にまず結果を種明かししておいて、それからその原因を読者と共に究明していくという手法は、劇や叙事詩においては「プロットの統一」に最も有効な手段なのである。

ゴドウィンは、最初に第3巻を書き、次に第2巻に遡り、最後に第1巻に至って完成したのである。この小説は、各巻各章の構成が緻密な計算に基づいていて、全く無駄がない。全編が一部一厘の隙もないのである。

この小説は、『政治的正義』の翌年に発表されたので、一般に支配階級の横暴と不正を告発した革命



『女権の擁護』初版(1792)の扉

小説だと評されたが、革命熱が冷めた後で読むと、それは、純文学作品としても優れた犯罪心理小説なのである。使用人ウィリアムズは、自分が仕える大地主フォークランドが殺人犯であることを突き止めると、主従の立場が逆転して、地主を不安と恐怖のどん底に突き落とすのである。しかし犯人は、自らの地主の特権を悪用して、逆に使用人を犯人に仕立てて、死刑囚にしてしまう。脱獄して死を免れた使用人は、地主の手先に追われる危険と恐怖に日夜怯える。まさに追いつ追われつの息詰まる心理小説なのである。

急進主義者ジョーゼフ・ジョンソンの出版社には、同じ急進主義の仲間が出入りしていた。ゴドウィン



ウルストンクラフト(38歳) オーピー筆

をはじめ、政治評論家トマス・ペーン、画家ヘンリ・ヒュースリ、画家、詩人ウィリアム・ブレイク、牧師、化学者ジョーゼフ・プルストリなどの、錚々たる面々が集まり、フランス革命を賛美し、社会、人権、自由、宗教などを論じて飽きる事がなかった。

『女権の擁護』(1792)(写真左上)の著者Mary Wollstonecraft(1759.4.27-1797.9.10)(写真左下)は、ジョンソンの家に寄寓していたので、そこに集まる男性の論客たちを相手に、その美貌と弁舌で対等に論戦した。ジョンソン社から彼女が出版した児童用修身教科書ともいべき『実生活用教訓集』(1788)(写真右下)に、ブレイクの銅版画10枚が挿入されているのは、彼らが急進派仲間であったからである。ブレイクの詩「メアリ」や「アルピヨンの娘たちの幻想」には、美貌の女性が歌われているが、それがウルストンクラフト自身であることは、今



『実生活用教訓集』初版(1788)の口絵

日、ほぼ一致した解釈である。

1797年3月29日、ゴドウィンとウルストンクラフトは、ロンドン郊外の片田舎の聖パンクラス・オールド・チャーチ(表紙写真)において、秘密結婚をした。これはたいへん小さな教会であるが、ドイツの有名な作曲家バッハ(1735-82)の墓があるところである。(バッハの記念碑はウェストミンスター寺院にもある。)

ゴドウィンとウルストンクラフトが結婚の公表を躊躇したのは、二つの理由が考えられる。一つは、原理的に、ふたりとも結婚制度否定の立場を、著書において公言してきた自由恋愛主義者であったこと。もうひとつは、ふたりがそれぞれ後援者たちから、生活費を援助してもらっていたこと。結婚の公表は、ふたりにとって、学問的人間的信頼の喪失と同時に、明日からの生活費の断絶を意味していた。しかし、妻懐妊の喜びは、一切の憂慮に優っていた。生まれいずるわが子を、親の都合で、不幸な私

生児にしてはならないのだ。現行法の下では、親はわが子を幸せにする義務と責任があるのだ。

ウルストンクラフトは、1797年8月、女兒ファニーを生んで、翌月には37歳5ヶ月の生涯を閉じて、この静かな教会に静かに埋葬された。ゴドウィンが妻と並んでここに永眠するのは、それから39年後の1836年である。この女兒ファニーは、後に詩人シェリーの二番目の妻となって、怪奇小説『フランケンシュタイン』(1818)を書き、両親と夫の墓を守るのである。

中央大学図書館には、ゴドウィンとウルストンクラフトの貴重な文献が数多く所蔵されている。今回の展示はそのごくごく一部に過ぎない。

(注)2006年12月4日(月)～16日(土)の間、中央図書館2Fホールにおいて「当館所蔵ゴドウィン&ウルストンクラフト関係コレクション」の企画展示を行います。(編集部)



文献調査のすゝめ

精密工学専攻修士2年 浅見大輔

研究をしているとよく壁にぶち当たることがある。

当たり前のことなのだが、そんなときの対処法は二つある。

一つは独力でその壁を乗り越えてしまうことだ。研究とは未だ出ていなかった答えを見出すことなのだから、この方法が至極真っ当であるように思われる。

だが、実際にはそうではないことを私は卒研、修論を経て思い知らされた。研究というものはいくらから始まるものは大変少ない。ほとんどが何らかの研究の成果に立脚して更なる発展を目指しているのである。当然、先行研究は沢山あるのだ。だから、私が独力で問題を解決しても、往々にしてそれはより洗練された形で文献に載っているのである。

なので、壁にぶち当たったときに私がとる対処法は、もう一つの対処法、過去の文献に答えが載っていないか徹底的に調べることである。載っていれば自分の研究に当てはめればよいし、載っていなければ逆に自分の研究のコアにもなりえる問題を手に入れたことになるので、どっちに転んでも研究の発展

に役に立つのである。

そしてこの調査に使うのが図書館のオンラインデータベースである。先行研究に全く目星がなければ、手始めにJ-Dream II*でキーワード検索をかけてみよう。世界50数カ国の雑誌や刊行物から関連した文献を検索することができる。文献に目星が付いていればそれが載っている雑誌をOPACで検索して調査し、それで事足りなければ参考文献を孫引きしていけばよい。OPACでヒットしなくてもNACSIS Webcatで検索してみると、他大学には蔵書があったりするので、レファレンスカウンターで紹介状をもらってその大学を直接訪ねたり、その文献を取り寄せてもらったりなどして調査をすることが出来る。

もしこれらがなければ、参考文献を調査するだけで修士の2年を費やしてしまうだろう。図書館のオンラインデータベースの有効活用、これなくして研究は進まない時代に来ているのではないだろうか？

(*J-Dream IIは、後樂園キャンパス・市ヶ谷キャンパスからのみご利用になれます。)

Library Navigator

—CHOISから資料の予約申込みができるようになりました—

「貸出中の資料の予約」、「他キャンパスからの資料の取寄せ申込み」(両方とも予約)を、従来はカウンターでのみ受付けておりました。これらの「予約」が、10月25日よりCHOISから直接申込みできるようになりました。インターネットを利用できる環境であれば、ご自宅からでも申込み可能です。予約した資料の確認や受取については、カウンターで予約申込みしたものと同一扱いになり、申込みの状況は、CHOISメニュー「貸出予約照会」から確認できます。

※CHOIS予約にはいくつか制限事項があり、CHOIS予約できない資料でも、カウンターにお越しいただければ、予約申込みできる場合があります。詳しくは、CHOISのヘルプやカウンターで配布しているチラシをご覧ください。

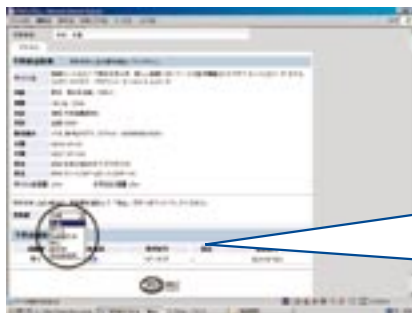
<CHOIS予約手順>



予約、取り寄せを希望する資料を特定したら、予約申込みボタンをクリックしてください。

注)同じ資料を複数の図書室で所蔵している場合や同じ資料のデータが別々に表示されることがあります。予約申込みする前に、本当に求めている資料で利用できるものがないか？再度確認してみてください！

ID・パスワードを入力(IDとパスワードについては、ログイン画面のヘルプを参照)



該当の資料に間違いがないか確認の上、必ず、**受取館に自分の希望する館を指定し**、申込みボタンをクリックしてください。身分や所属するキャンパスによって表示されていても選択できない館があります。申込みが受けられた場合は、メニュー画面に戻ります。予約の確認は、メニュー画面の「貸出予約照会」から行ってください。

申込みが受けできない場合は、メッセージが画面左上部に表示され申込みはできません。

<CHOIS予約できない主なケース(カウンターでは申込みできる場合あり)>

- ・参考図書や研究所の資料など一部の配架場所資料、およびJ資料(判例・法令)などの禁帯出資料。
- ・罰則期間中、延滞中の人。
- ・CHOIS予約の冊数上限を超えた場合。(院生以上10冊、学部学生6冊など)
- ・既に他の人が予約している資料。(1資料に対して予約できるのは一人までとなります。カウンターでも申込みできません。)

※その他様々なケースがありますので、ご不明な点は、CHOISヘルプで確認するか、カウンターへご相談ください。

—CHOISからILLサービス(学外文献複写・図書借用)の申込ができるようになりました—

お探しの資料が中央大学に所蔵されていない場合は、ILLサービス(他大学図書館からの文献複写・図書の取り寄せ【複写料金および郵送料は実費】)を申込みことができます。従来のカウンターでの申込とあわせて、図書館に来館いただかなくてもCHOISを通じてILLの申込ができるようになりました。通常の窓口受付時間以外にも申込ができますので、ぜひご利用ください。なお、このサービスは、教職員・大学院生のみが対象となります。ご希望の方は事前登録が必要です。詳細は、図書館ホームページをご覧ください。下記カウンターまでお問い合わせください。

●受付窓口

多摩：中央図書館レファレンスカウンター / 市ヶ谷：市ヶ谷キャンパス図書室4階カウンター / 後楽園：理工学部分館6階カウンター

住所：〒114-0002 東京都北区王子1-1-3 飛鳥山公園内 紙の博物館1F

TEL：03-3916-2320

FAX：03-5907-7511

URL：http://www.papermuseum.jp/

利用資格：無条件(入館料:大人 300円 小・中・高生 150円)

開館時間：10:00～12:00 13:00～16:50(入館は16:30まで)

休館日：月曜日(但し、国民の祝日、振替休日となる時は開館)振替休日・年末年始
※詳細は、ホームページのカレンダーをご覧ください。

サービス：閲覧(貸出不可)・レファレンス・複写(一枚20円、カラーコピー100円)

一部の資料は閲覧・複写不可。レファレンスサービスを希望の方は、事前に電話でご連絡下さい。

蔵書数：図書:9,000冊、雑誌:306タイトル

座席数：9席、蔵書検索端末機1台

図書検索：http://webcat.nii.ac.jp/

(一部資料のみ。ご来館の前に必ず電話、又はホームページ上の問い合わせフォームにてご確認の上、来館して下さい。)

交通アクセス：JR京浜東北線王子駅南口下車 徒歩5分

営団地下鉄南北線西ヶ原 徒歩7分

都電荒川線飛鳥山停留所下車 徒歩4分

都バス飛鳥山バス停 徒歩5分 (草64系 浅草寿町～王子駅～池袋駅東口)

(王40系 西新井駅～王子駅～池袋駅東口)



紙に目や耳があることを知っていますか？大洋紙(たいようし)、B紙(びーし)、雁皮(がんび)これらすべて日本各地の「模造紙」の呼び名であることをご存知でしたか？身の回りにあふれている色々な「紙」のヒミツを教えてくれるのが、日本の洋紙発祥の地、東京都北区王子にある「紙の博物館」です。

「紙の博物館」は、旧王子製紙株式会社の収蔵資料を基に、戦後間もない昭和25年に設立されました。和紙、洋紙を問わず、古今東西の紙に関する資料を幅広く収集、保存、展示し、教育普及活動を行なっている世界有数の紙専門の博物館です。今では、150社を超える多くの紙関係会社の支援によって運営されています。

その「紙の博物館」内にある図書室では、製紙業界の新聞、社内報、新聞切抜きやカタログ・パンフレットの他、地域別和紙見本や、紙の歴史、加工、伝統技術、紙・パルプ産業の技術書、業界事情など、紙周辺分野の資料、約9,000点を閲覧することができます。閲覧には制限がありますが、江戸期以前の古書約500点、旧王子製紙技術文献ファイルなどの特別資料も所蔵しています。「紙」に関する知識豊富な図書館司書も常勤しており、みなさんの疑問を解決する手助けをしてくれます。

「紙」全般に関する知識を深めることができるばかりでなく、紙すき体験教室や様々な企画展も予定されている為、実際に紙に触れ、楽しみながら学ぶことができます。

日本の紙の生産量は世界第3位。また国民一人が使う紙の量は1年間に240kg。世界平均が54kgという数値からペーパーレス時代どころか、紙使用量は年々増加しています。いつもたくさん使っているけど、実は知らない「紙」のこと。「紙の博物館」で現在の資源・地球環境・リサイクルというテーマからも、現在を知り、未来を改めて考えてみてはいかがでしょうか。

新収資料紹介

①教職員著作目録 2006.4 - 2006.9 ()は所属学部等

著者名	書名	出版社	配置場所	請求記号
阿部 泰隆 (総合政策学部) 編 淡路 剛久	環境法 (有斐閣ブックス 83)	有斐閣	開架・中央	519.5/A12
渥美 東洋 (名誉教授) 著	刑事訴訟法 全訂	有斐閣	開架・中央	327.6/A95
渥美 東洋 (名誉教授) 編著	日韓比較刑事法シンポジウム 日本比較法研究所と韓国法務部との交流20周年記念行事 (日本比較法研究所研究叢書 70)	中央大学出版部	開架・中央	326/A95
猪口 孝 (法学部) 編 マイケル・コックス	アメリカによる民主主義の推進 なぜその理念にこだわるのか	ミネルヴァ書房	開架・中央	319.53/I55
猪口 孝 (法学部) 編 田中 明彦	Human Beliefs and Values in Striding Asia East Asia in Focus : Country Profiles, Thematic Analyses, and Sourcebook Based on the AsiaBarometer Survey of 2004	明石書店	中央	309.15/H91
デイヴィッド・ヘルド アンソニー・マグルー 白井 久和、古城 利明 滝田 賢治、星野 智 (順不同・法学部) 訳者代表	グローバル・トランスフォーメーションズ 政治・経済・文化 (中央大学社会科学研究所訳叢書 1)	中央大学出版部	開架・中央	319/H51
櫻本 泰子 (文学部) 著	上海オーケストラ物語 西洋人音楽家たちの夢	春秋社	開架	764.3/E63
奥村 安弘 (法科大学院) 編訳	国際私法・国籍法・家族法資料集 外国の立法と条約 (日本比較法研究所資料叢書 8)	中央大学出版部	開架・中央	329.8/O54
大村 雅彦 (法科大学院) 編 三木 浩一	アメリカ民事訴訟法の理論	商事法務	開架・中央	327.953/O64
大淵 博義 (商学部) 著	国税の常識 第9版 (知っておきたい)	税務経理協会	開架	345/O19
加賀野井秀一 (理工学部) 監修 酒井 邦嘉	ことば (あたらしい教科書 3)	ブテグラ パブリッシング	開架	801/Ka16
金井 貴嗣 (法学部) 著	独占禁止法 第2版	青林書院	開架・中央	335.57/Ka44
新堀 隼 柏木 (法科大学院) 編著	グローバル商取引と紛争解決 (グローバル商取引シリーズ)	同文館出版	開架・市ヶ谷	329.87/N72
川原 彰 (法学部) 著	現代市民社会論の新天地 (アラントのモメント)の再発見	有信堂高文社	開架・中央	311/Ka92
木島 淑孝 (商学部) 編著	組織文化と管理会計システム (中央大学企業研究所研究叢書 25)	中央大学出版部	開架・中央	336.84/Ki19
岸 真清 (商学部) 著 藤波 大三郎	ファースト・ステップ金融論 MOMETARY ECONOMICS	経済法令研究会	開架・中央	338/Ki56
木立 真直 (商学部) 編著 辰馬 信男 (商学部)	流通の理論・歴史・現状分析 (中央大学企業研究所研究叢書 26)	中央大学出版部	開架・中央	675.2/Ki12
工藤 達朗 (法科大学院) 編	よくわかる憲法 (やわらかアカデミズム・わかる)シリーズ	ミネルヴァ書房	開架・中央	323.14/Ku17
斉藤 孝 (文学部) 著	意味論からの情報システム ユビキタス・オントロジー・セマンティック	中央大学出版部	開架・中央	401/Sa25
坂田 豊光 (商学部) 著	総説外国為替マネージメント 国際投資・企業財務のための外国為替マネージメント	シグマベイス キャピタル	開架・市ヶ谷	337.7/Sa37
塩見 英治 (経済学部) 著	米国航空政策の研究 規制政策と規制緩和の展開	文眞堂	開架・中央	687.1/Sh74
島田 修一 (名誉教授) 編著	社会教育 自治と協同創造の教育学	国土社	中央	379/Sh36
田中 素香 (経済学部) 著 長部 重康	現代ヨーロッパ経済 新版 (有斐閣アルマ Specialized)	有斐閣	開架・中央	332.3/Ta84
ロバート・L. ゲイル 高橋 直知 (文学部) 著訳	ナサニエル・ホーソーン事典 (アメリカ文学ライブラリー 1)	雄松堂出版	中央・理工	D930.29/H45/G17 930.28/A44
高橋 由明 (商学部) 著	基礎と応用で学ぶ経営学 ひとつの国際比較	文眞堂	開架・中央	335.1/Ta33
田辺 勝美 (総合政策学部) 著	毘沙門天像の起源	山喜房佛書林	中央	702.098/Ta83
白 先勇 陳 正賢 (文学部) 著訳	探子 (新しい台湾の文学 現代台湾文学系列)	国書刊行会	開架	923/H19
富田 俊基 (法学部) 著	国債の歴史 金利に凝縮された過去と未来	東洋経済新報社	開架・中央	347.2/To58
新原 道信 (文学部) 編 奥山 眞知	地球情報社会と社会運動 同時代のリフレクシブ・ソシオロジー	ハーベスト社	中央	361/N72
木村 栄一 野村 修也 (法科大学院) 編	損害保険論 Elements of Non-Life Insurance	有斐閣	開架・中央	339.5/Ki39
鳥山 恭一 福原 紀彦 (法科大学院) 著	会社法 新訂版	学陽書房	開架・中央	325.2/To69
藤本 哲也 (法学部) 編	刑事政策 第9版 (演習ノート)	法学書院	開架・中央	326.3/F62
古城 利明 (法学部) 編	リージョンの時代と島の自治 バルト海オーランド島と東シナ海沖縄島の比較研究	中央大学出版部	開架・中央	318.299/F93
堀部 政男 (法科大学院) 編著	インターネット社会と法 第2版	新世社	開架・中央	547.8/H87
堀部 政男 (法科大学院) 監修 鈴木 正朝 著	個人情報保護マネジメントシステム要求事項の解説 JIS Q 15001:2006	日本規格協会	開架	336.1/Su96
松尾 正人 (文学部) 編	近代日本の形成と地域社会 多摩の政治と文化	岩田書院	開架・中央	213.6/Ma85
ヴィルヘルム・フォン・フンボルト 村岡 晋一 (文学部) 訳・解説	双数について	新書館	中央	801/H98
矢内 一好 (商学部) 著 高山 政信	税務・会計用語辞典 和英用語対照 11訂版	財経詳報社	開架・市ヶ谷	D336.98/Y54
和田 光平 (経済学部) 著	Excelで学ぶ人口統計学	オーム社	開架・中央	358.01/W12
中央大学文学部 編	恋愛家族そして未来	中央大学出版部	開架・中央	367.6/C66

②中央大学関係資料目録 2006.6 - 2006.10 (貴重書・準貴重書指定)

著書	書名	請求記号
和田 芳恵 自筆草稿	「エンタープライズ寄港と父親」	K914.6/W12
和田 芳恵 自筆草稿	「蛭とぶ肌」	K913.6/W12
高橋 健三 自筆書簡(封書)		K289./Ta33

書名	請求記号
中央大学経済学部卒業アルバム昭和17年5月刊	M377.28/C66
英吉利法律学校規則	377.28/I24



貴重書・準貴重書の利用について

貴重書、準貴重書の閲覧は館長の許可を要するため事前の手続きが必要です。

詳しくは中央図書館2階カウンターに、お問い合わせ下さい。

なお、大学院生は指導教員の推薦状が、学部学生は指導教員の同伴が必要となります。



(1) 私立大学図書館協会総会・研究大会開催

9月7日(木)～8日(金)に関西学院大学上ヶ原キャンパスにおいて開催されました。本学図書館からは、古城館長以下4名が出席しました。

私立大学図書館協会は、2006年度現在で加盟館496校となっています。2007年度から、当館は協会の会長校に就任する予定です(任期2年)。

(2) 12月企画展示実施

本号で紹介された「ゴドウィン&ウルストンクラフト関係コレクション」について、下記の日程で展示を行う予定です。

期間:12月4日(月)～12月16日(土)

場所:中央館2階ホール(展示ケース)

(3) ホームカミングデー実施により休日開館

10月22日(日)に行われましたホームカミングデーのため、図書館は10時から16時まで休日開館を行いました。当日は、多くの卒業生が見学に訪れました。

(4) 国際機関資料室について

国際機関資料室は、中央図書館内に設置されており、1979年にEC資料センター(現在はEU情報センター)に指定され、1994年6月には国連寄託図書館に指定されています。国際機関資料室は、本学関係者以外の一般市民にも公開しています。

EU情報センター(EU i)は、国内に19箇所ありますが、都内にある大学図書館では、本学の他5大学(早稲田大学、東京大学、慶應義塾大学、上智大学、一橋大学)に設置されています。

国連寄託図書館の方は、国内に14箇所あり、都内の大学図書館では、本学と東京大学のみとなっています。

編集後記

今回の特集は岡地嶺名誉教授に「ウィリアム・ゴドウィンの生誕250周年記念に寄せて」をご執筆いただきました。また、取材に応じてくださいました「紙の博物館図書室」のスタッフの皆様、Voiceをご執筆いただいた浅見大輔さんに厚く御礼申し上げます。

今月の企画展示では、ゴドウィンが1804年に書いた書簡も展示されます。202年前に書かれた手紙がとても良い状態で残っていることに驚きました。最近はE-mailでやりとりすることが多くなりましたが、手書きの手紙の良さも見直したいと思います。

「My CUL」は次号より年2回刊行となります。読者のみなさまのご意見をお待ちしております。